

あーよかったな あなたがいて ～優しさというビタミン愛～ パート4



あー

えっ、高校3年生に家庭教育講座を？

今から12年前（2007年）のことです。

西宮市教育委員会3階の会議室で、こんな話し合いが行われていました。

会合名は「西宮市家庭教育振興市民会議^{にしのみやしかていきょういくしんこうしみんかいぎ}（※1）」

「家庭教育講座を大人になる直前の高校3年生にしてみてもどうか？」

「えっ高校3年生に？ 受験前、就職前の大切な時期になぜ？」

「この時期だからこそ、いいのかもしれないよ」

議論は白熱しましたが、前代未聞^{ぜんだいみもん}の「高校3年生への家庭教育講座」はこうして始まりました。

多分、全国的にも珍しい^{めづら}取り組みだったでしょう。

2007年12月、市立西宮高校の卒業前の「特別選択講座^{とくべつせんたくこうざ}」の一つとして、53名の3年生が参加してくれました。

結果は、予想外の大好評でした。生徒たちは目を輝^{かがや}かせて聞いてくれました。

その後、市立西宮高校では2011年からは3年生全員（250名）に、

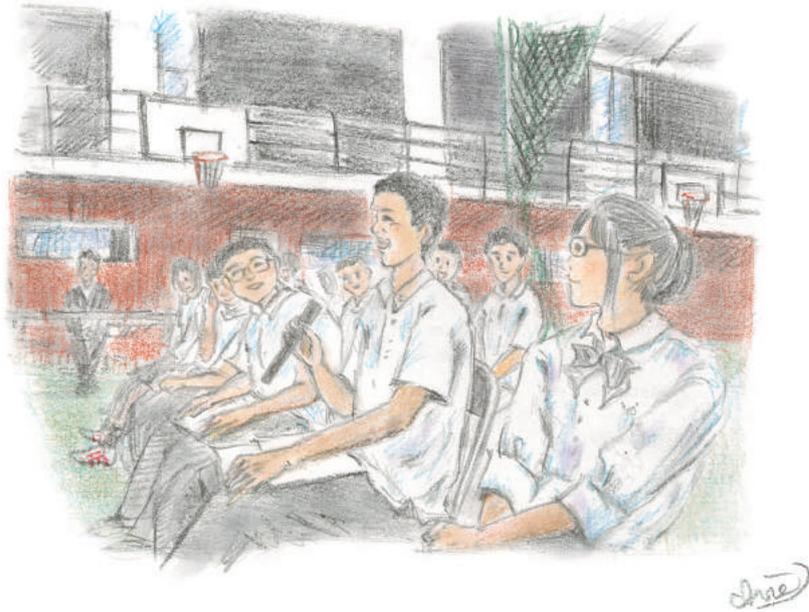
市立西宮東高校でも2010年より3年生全員に、2017年からは県立鳴尾高校、

2018年には県立西宮北高校でも実施されました。

高校生の瑞々^{みずみず}しい感想に、我々大人も感動し、あらためて

人権教育とは「人と人の温かいつながりを感じること」であり、

家庭教育の大切さを再認識することになりました。



※ 1 「西宮市家庭教育振興市民会議」・・・家庭の教育力の充実を支援する目的で、子ども支援団体・学校園・学識経験者の委員で構成されている。1981.7設置 市教委・社会教育課

【家庭教育出張講座～高校生対象～】

あーよかったな あなたがいて

～こんなお母ちゃん、お父ちゃんになりたいな～

1. 子どもは「つ」の年齢までは手を離さず 1つ2つ3つ・・・9つ（9歳の壁）
2. 優しい人に育てたい。 親の優しさが子どもを優しくさせる
3. 「10秒の愛」を大切に。 ぎゅっと抱きしめ「あなたが大好き！」
4. 子どもの心は「子ども銀行」 心にいっぱい貯金があると大丈夫！
5. つながりと感動の生活を！ 親子で感動、仲間と感動、自然に感動・・・
魅力ある空間、すてきな仲間、いっぱいの時間の中で、人間は成長していく
6. あーよかったな あなたがいて この言葉は、人を「幸せ」にする

～ 10 秒 の 愛 ～

子どもって、忙しいときに限って、寄ってきます。

子どもって、なかなか さっさとできません。

子どもって、なかなか はっきりと言えません。

でも たった10秒でいいのです。まず子どもを抱きしめてあげてください。

たった10秒でいいのです。「早く！」って言う前に待ってあげてください。

たった10秒でいいのです。せかさずに、じっと聞いてあげてください。

すると、そこに「笑顔」が生まれます。そこに「つながり」が生まれます。

たかが10秒、されど10秒「10秒の愛」は子どもを幸せにするのです。

なんでこんな時期に？ でも聞けてよかった！

★^{じゆんすい}純粹さを忘れかけるこの時期に、たくさんの素敵なお親子の関係をきけて、心が温まったし、人間って変わるんだ、すごく温かいんだ、人間っていいな、と思えました。今までの人も、これから出会う人のことも考えられる人になりたいと思いました。今日の話を一生涯忘れたくないと思いました。

★^{もし}模試の結果が悪くて、全然変わらない自分が嫌で、^{いや}投げやりになって、本当に辛い毎日でした。でもこの講座を聞いて、^{おうえん}応援してくれる人がたくさんいることがわかって、こんなんしていたらダメだなんて気づきました。壁が自分の前に出来た時は、今日の話思い出します。自分が親になった時も今日の話思い出します。そして扉^{とびら}を開きます。今日の話は絶対に忘れないです。

★これまでの講演の中で一番面白く、思わず聞き入ってしまいました。
なんで高3でするんだと思っていましたが、逆にイライラしたり、悩んだり、落ち込んだりしている
この時期にこんな講演が聞けてすごくよかったです。
小学生の時のこと、中学生の時のこと、これからのことなど、



Chico

自分の人生について今までになく、細かいことまで思い出すことが出来たり、^{しょうさい}詳細な未来図を描いたり出来ました。
た。^{こうはい}後輩たちにもぜひこの講座をしてあげてください。

恥ずかしいから「ありがとう」なんて言えないけど

★僕はこの高校生活の中でたくさんの問題行動を起こしてしまいました。

その度に父母と一緒に謝ってくれました。2日前ぐらいに野球部の集まりで親に感謝の手紙を読んだのですが、やっぱり僕は^{めいわく}迷惑をかけすぎたなと思います。

こんな僕なのに^こに見捨てずに18年間育ててくれた親に本当に感謝しています。

でも恥ずかしいから「ありがとう」なんて言えないと思います。

またいつか「ありがとう」と言いたいです。

★自分は親に申し訳ないといつも思っています。一人っ子な分、

心配され注目されている分、期待に^{こた}応えたくて、いつもあがいています。

素直に面と向かって「ありがとう」って言ったのは幼稚園の頃だけです。

親に愛されている分、優しさを返そうと思います。10秒の愛・・・^{ひび}すごく響きました。



★学校でなんかあったりしたときに、お母さんがブスツとしている私の頭をなでてくれることがよくあって、そのなでられた後はなんだか気持ちが軽くなりました。

ある夜、お母さんとケンカした後、部屋に閉じこもっていると、

私が寝た後に、お母さんがそっとやって来て、

頭をなでながら「私の宝物」って言ってくれました。

お母さんが出て行った後、私は泣いてしまいました。

今日の話聞いて、そのことを思い出しました。

家に帰ったらお母さんにこの話をしようと思います。



★涙が止まりませんでした。私は今朝、お母さんとケンカして、

家を飛び出してきました。お母さんもドアをわざと鍵^{かぎ}の閉める音を大きくして閉めました。

ガチャンと音がして、その時は腹が立ってしょうがなかったけれど、講演会を聞いているうちに、お母さんに会いたくなって涙が出てきました。やっぱり寂^{さみ}しかったんだなぁと思いました。

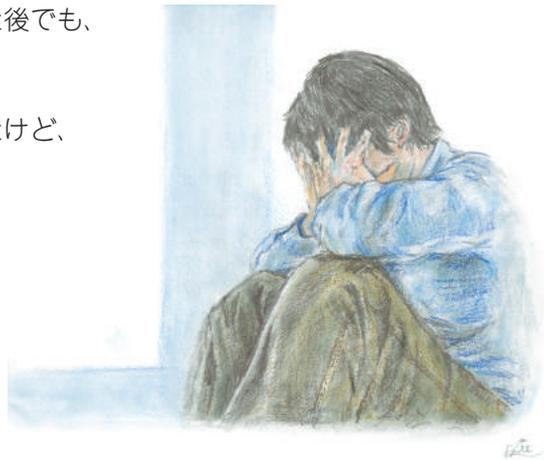
★僕は一時期「自分は何の役にも立たない」と考えていることがあって、
「ほっといてほしい」と言いつつ、「どうにかしてほしい」と内心では思っていました。
ある時、僕は父に「勝手にしろ！」って言われて、本当に色々^たと溜まっていて、持っていたペンで思いっきり手の甲^{こゝ}を刺^さしてしまったことがあった。その後、父が部屋に入ってきて、何も言わずに手当^たてしてくれた。
そして「こんなことしてどうするねん」と言いながら抱きしめてくれた。
先生が言ったのはこういう優しさなんだなと思った。

★世の中には叱^{しか}ることがしつけになるという人もいるけど、この講演を聞いて褒^ほめてあげることで子どもの心が育っていくのだなぁと思いました。

僕のお父さんやお母さんは今までどんなことがあっても、叱った後でも、
しっかりとした愛情で見守ってくれました。

その愛情が、時にはうとうしいと思って反抗したこともあったけど、
今改めて考えてみると、お父さんやお母さんに申し訳なく思い、
同時に感謝の気持ちかわいてきます。

お父さん、お母さんから受けた愛情を僕も自分の子どもに
注いであげられるようなお父さんになりたいです。



心の銀行に優しさという温かい貯金を

★人間は人とのつながりが大事という話は何度か聞いたことはあったけど、人の話を聞いて涙が出たのは初めてでした。今まで両親から知らず知らずのうちにもらっていたたくさんの愛に改めて気づけた気がします。優しい人とは、^{うれ}憂いの横にそっと寄り添える人のこと。友達がしんどい時、そばにいてあげられる人になりたいです。将来結婚をして、子どもが生まれた時、今までの素敵な出会いとこれからの素敵な出会いに感謝していきたいです。そして「10秒間の愛」を大事にこれからも頑張ります。悩んでいたことも全部スッキリしたので、また進んでいけそうです!!!

★講演を聞いて、改めて優しさが大切だと思いました。今までずっと母に「優しい人になってくれればそれでいい」と言われてきた意味がやっとわかった気がします。

今日、話してくださったことの中に私の母がしてくれたこともたくさんありました。保育の道に進む上で、また親になる上で、少しの優しさや思いやりが子どもにとってはかけがえのない大切なものになるんだと思いました。

今まで生まれてからずっとたくさんの人に支えられ、優しさももらってみんながいてくれたから、



ここまで来れたんだと実感しました。

大人になった時、母がたくさん優しさをくれたように、私も母みたいな親になりたいと思いました。

とても感動し、心に残りました。

★今日の話聞いて、親への感謝、そして妹への接し方など考えさせられる部分がたくさんありました。僕の家は母子家庭で、お母さん一人で生活を支えています。そんなことを考えると、僕をここまで育ててくれたことへの大変さ、親としての覚悟かくごがあったんだと、とても尊敬そんけいします。将来、親になったとき、この講演を思い出して「優しい子ども」を育てられるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

★悪い子にこそ優しくということがとても心に響きました。私もどうしても嫌いというか苦手な子には冷たくしてしまいがちなのですが、そういう子にこそ優しくすることによって、もしかしたら好きになるかもしれないし、お互いに信頼しんらいかんけい関係が生まれるのかなと思いました。そして、そんなことを将来、自分の子どもに教えて、思いやりのあるいい子に育ててほしいなと思えました。

★子どもの背中に声をかけたり、寝ている時に声をかけるだけでも、親の思いが子どもに伝わるという話がとても印象的だった。人は優しさで変わることができるので、優しさというのはとても大切なことだと思った。

★受験でいっぱいいっぱいの今、親に当たってしまうこともあります、マラソン大会で応援してくれたこと、友達とケンカをしたとき抱きしめてくれたことなど、たくさん愛情をくれたことを思い出して、今支えてくれていることにも感謝し、日々過ごしていきたいと思います。そして、私も“10秒”待ってあげられる親になりたいです。



こんなお母さんお父さんになりたい

★私は1歳半のときから母子家庭で育ち、中2のときに母が再婚^{さいこん}し、妹が生まれました。母子家庭で育った3人の女の子の話に感動しました。母はいつも私のそばにいてくれて、一番の味方でした。父親がいなくて寂しいと思ったことはないくらい母の愛情に満たされていました。母のおかげで私は今まで大きくなれたなと思います。今、妹を母が育てているのを見て、私もこんなに大切に育ててもらったんだなと実感しています。私も母みたいな母親になりたいです。

★私は小学校4年生の時に親が離婚りこんしました。母が家族ではなくなりました。

とても辛かったです。私は母のことが大好きでした。

私の学校では2分の1成人式がありました。

その時が母と出会った最後になり、それからは一度も会っていません。

その2分の1成人式で親側が歌っていたのが、「未来へ」でした。

講演で聞いた瞬間しゅんかんに涙が出ました。

すごく好きだけど、一番嫌いな歌でもあります。

それでも私がつぶれなかったのは、本当に周りの支え、

父の「優しさ」のおかげだと思います。

講演会での話は私に改めて人のぬくもりを思い出させてくれました。

父は他の家庭の何倍もの「優しさ」を与えてくれ、私の自慢じまんのお父さんです。

母も10歳までは本当に良い、優しいお母さんでした。2人のような親になるのが私の夢です。そうなるためにも、今からたくさん“優しさの貯金”をしていきたいと思います。今日はありがとうございました。



私は今、講演の仕事をしています。対象は小学生から高齢者まで様々ですが、もし「一番楽しいのは？」ときかれたら、迷わず「高校生！」と答えます。もっと正確に言えば「高校3年生の家庭教育講座」です。

始まる前には嫌々会場に入ってきた生徒たちが、講演が始まると、これまでの18年間は蘇よみがえってくるのでしょう。「ああそんなこともあったな」と頷うなずき、「そうそう」と大きな声で笑い、時には涙ぐむのです。そして終わったあとは、爽さわやかな表情で「先生、ありがとうございました」「私、頑張ります！」そんな声をかけてくれるのです。

高校生に子育ての話なんかしていいのだろうか？役に立つのだろうか？「10秒の愛」が通じるのだろうか？私自身も不安で始まった家庭教育講座でしたが、そんな心配はあっという間に吹っ飛んでしまいました。

この講座が将来、本当に役立つのかはわかりません。その時には忘れているかもしれませんが、親にならない人もいるでしょう。でも高校卒業前に聞いた「親子の温かい話」は、人生を明るく照らす大きな力になると思うのです。

平成も終わり、新しい時代が始まる2019年です。SNSもますます進化し、便利になっていくでしょう。でも「人と人との温かいつながり」は不変です。

新しい時代の幕開けだからこそ、こんな講座を続けていくことに意義があると思っています。

私たち大人は「子どもの未来への応援団」なのですから・・・

仲 島 正 教

人権文化の花咲くまち 西宮をめざして 20

平成31年（2019年）3月発行
西宮市・西宮市教育委員会

文・仲島正教+高校3年生
画・米光智恵

アルストロメリア
「未来への憧れ」



平成31年（2019年）3月発行

編集：西宮市

〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎ (0798)35-3320